

2023年5月2日 全8頁

消費データブック（2023/5/2号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

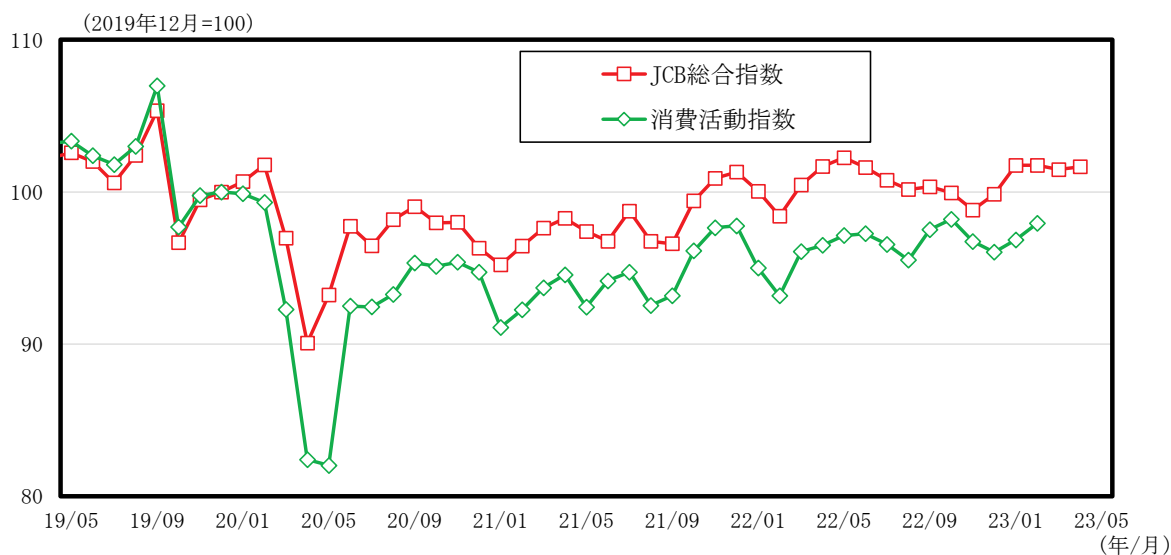
[要約]

- 2023年3月の消費は前月から小幅に増加した。財消費のうち、コンビニエンスストアの販売額やエアコン、パソコンの出荷台数は前月から増加した。サービス消費のうち、新幹線輸送量や国際線輸送量は2019年同月比で前月からマイナス幅が縮小した。宿泊需要や外食需要は前月から回復した。
- 2023年4月の消費は増加基調を維持したとみている。財消費のうち、百貨店大手3社の既存店売上高伸び率は前月から上昇した。新車販売台数は前月から増加した（大和総研による季節調整値）。サービス消費のうち、宿泊需要や外食需要は前月から回復基調が継続した。月中旬までの移動人口の動向を見ると、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月の96%程度の水準まで回復した。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 23 年 4 月前半の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）をもとに 4 月の実質消費額の伸び率を試算すると、前月比+0.2%となった。財、サービスともに前月から上昇した。

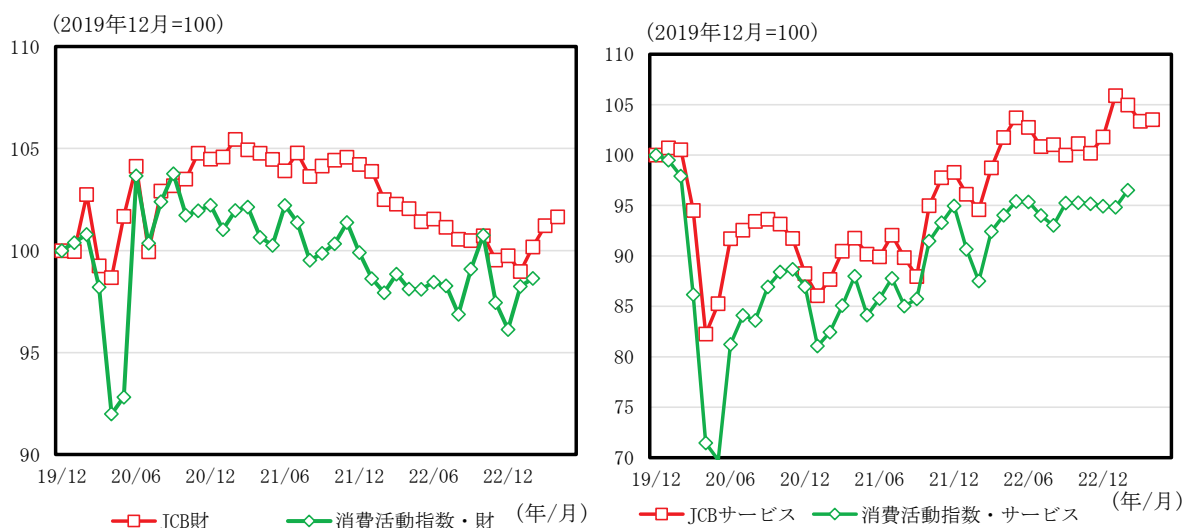
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23 年 4 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23 年 4 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

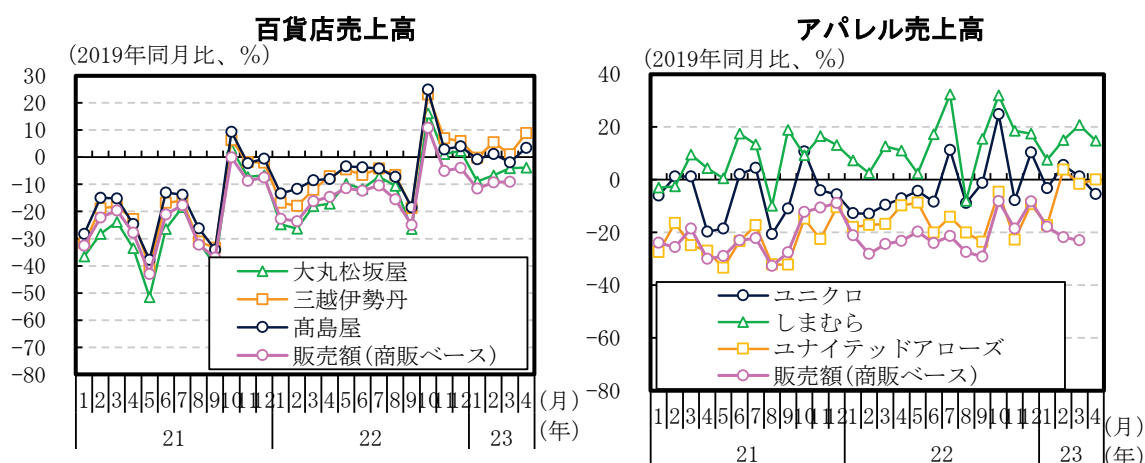
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

<小売関連>

- ◆【百貨店】 23年3月の百貨店商品販売額は、新型コロナウイルス感染拡大前である19年同月比で前月からほぼ横ばい。4月の百貨店大手3社の既存店売上高は同▲4～+9%程度と前月から伸び率が上昇。春物衣料や旅行用品、化粧品などが好調。
- ◆【アパレル】 23年3月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が拡大。4月のアパレル大手3社の既存店売上高は同▲6～+15%程度。しまむらとユニクロは前月から伸び率が低下。

図表3：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユナイテッドアローズはネット通販を含む数値。

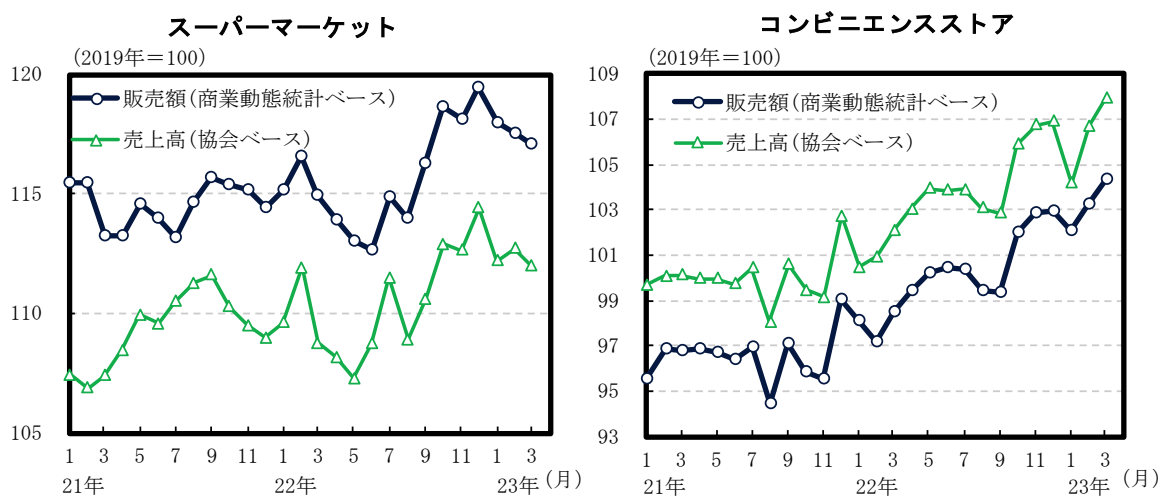
しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

(注3) アパレル販売額(商販ベース)は、商業動態統計の「織物・衣服・身の回り品小売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 23年3月の販売額は前月比▲0.8%（大和総研による季節調整値）。衣料品販売額や飲食料品販売額が低調。
- ◆【コンビニエンスストア】 23年3月の販売額は前月比+0.4%（大和総研による季節調整値）。加工食品などが増加。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

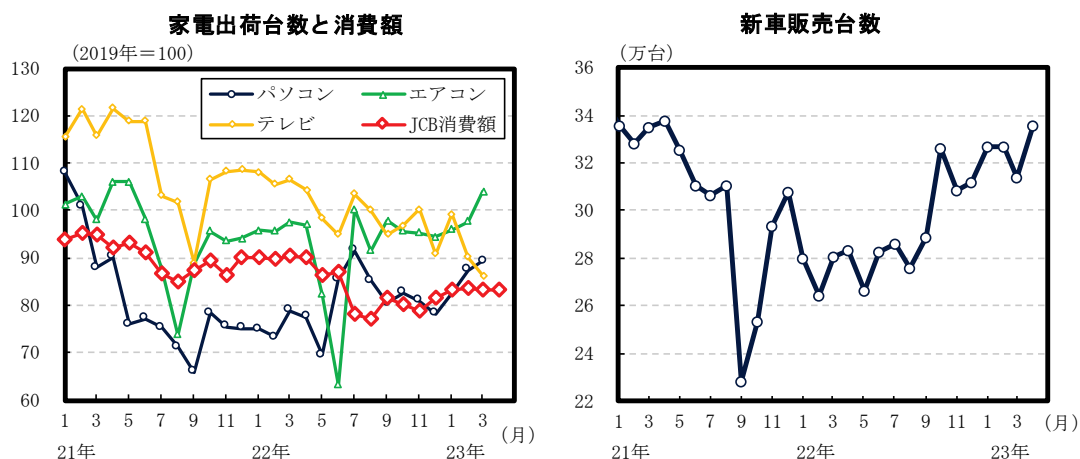


(注) 売上高（協会ベース）は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】 23年3月の出荷台数はエアコンが前月比+6.4%、パソコンが同+2.0%、テレビが同▲4.2%（大和総研による季節調整値）。4月のJCB消費額は同▲0.3%。
- ◆【自動車】 23年3月の新車販売台数は前月比▲4.0%（大和総研による季節調整値）。4月は同+6.9%と、21年以降では同年4月に次ぐ高水準。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



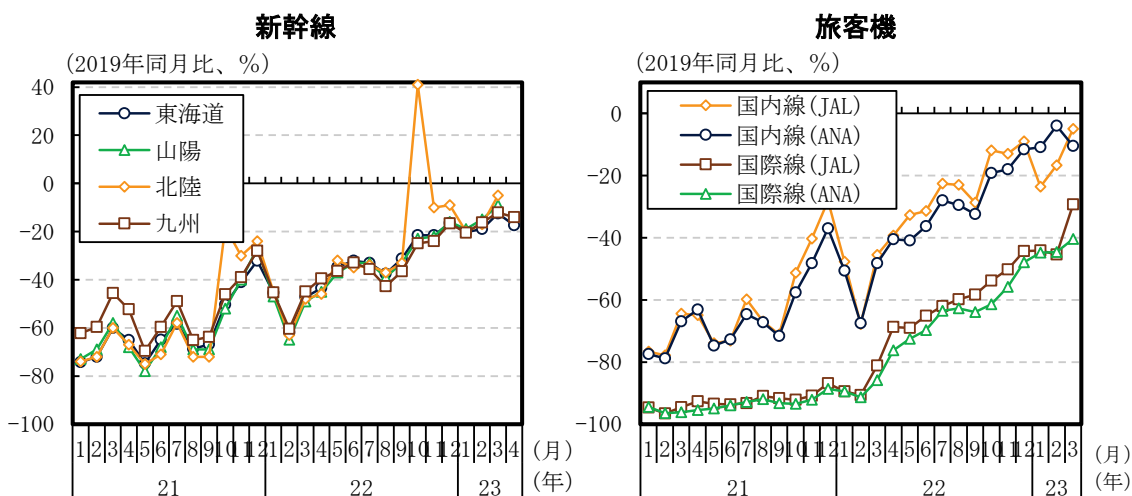
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。23年4月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】 23年3月の輸送量は19年同月比で5~10%減程度。4月の東海道新幹線と九州新幹線の輸送量は前月からマイナス幅が拡大し、いずれも同約20%減。
- ◆【旅客機】 23年3月の国内線輸送量は19年同月比で前月からまちまち、国際線輸送量は前月からマイナス幅が縮小し同約30~40%減。航空各社によると、ゴールデンウィーク期間中の国内線予約人数は18年比で80~90%台の水準まで回復。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

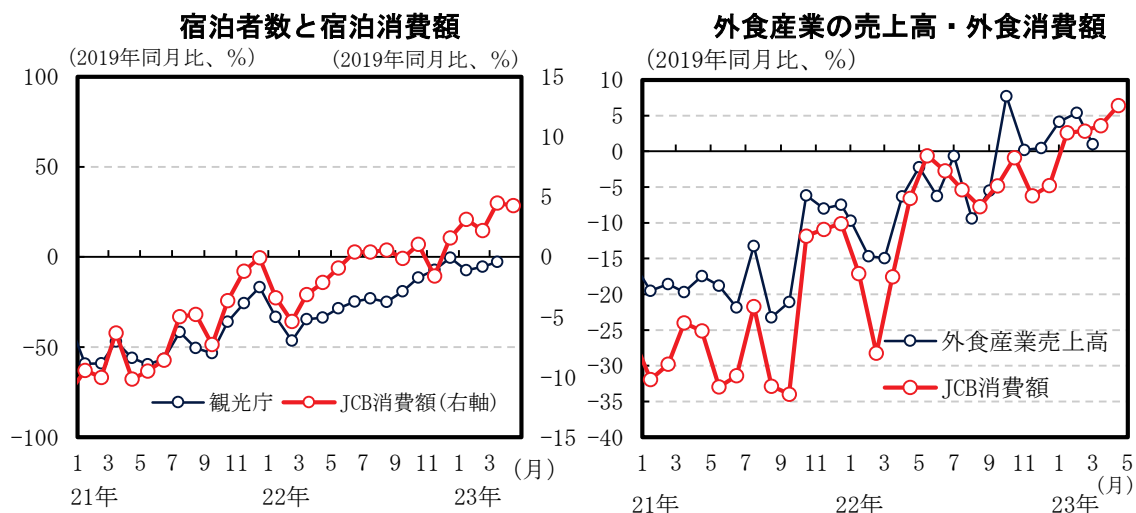


(注) 23年4月の東海は25日、九州は23日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 23年3月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比▲3%と前月からマイナス幅が縮小。4月のJCB宿泊消費額は同+4.3%と前月から小幅に低下。
- ◆【外食】 23年3月の外食産業の売上高は19年同月比+1.0%。4月のJCB外食消費額は同+6%と前月から伸び率が拡大。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

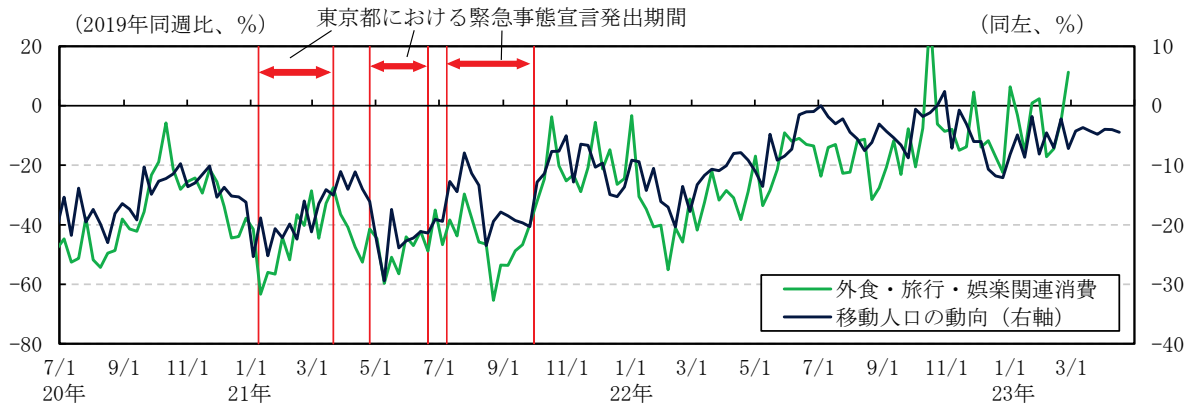


(注) 23年4月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：人出・高速道路交通量>

図表 8-1：移動人口の動向（直近値 4/16）と外食・旅行・娯楽関連消費

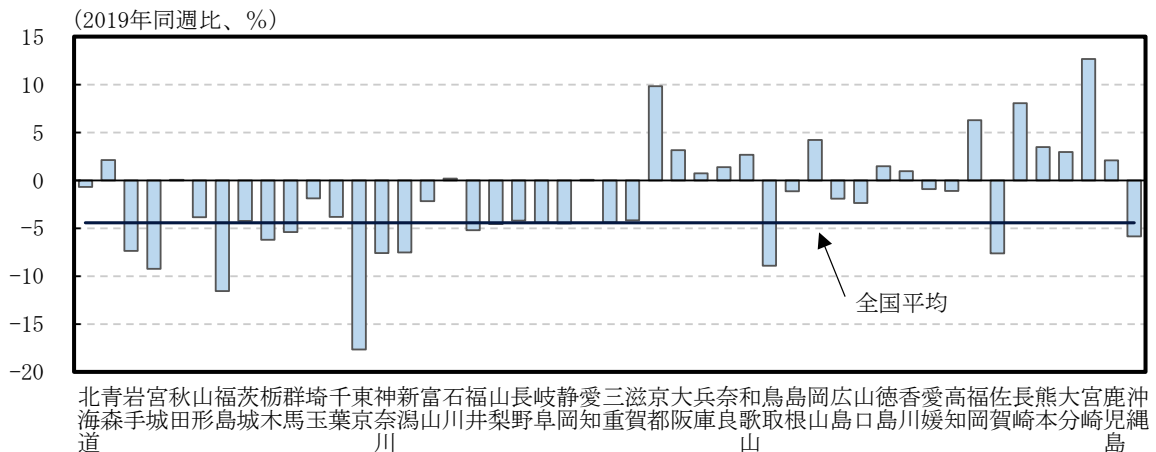


(注) 移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。

外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

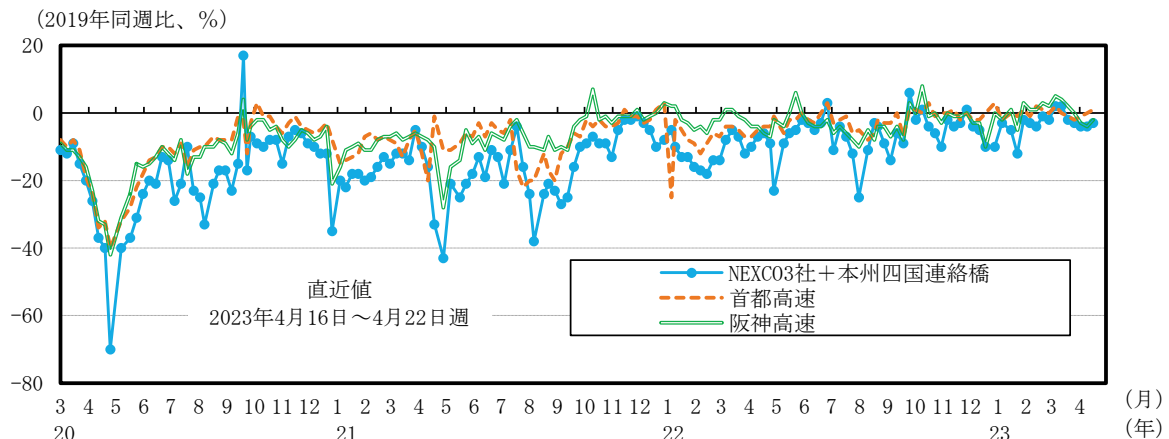
(出所) 総務省統計、V-RESASより大和総研作成

図表 8-2：移動人口の動向（4/10～4/16週、都道府県別）



(出所) V-RESASより大和総研作成

図表 9：高速道路交通量

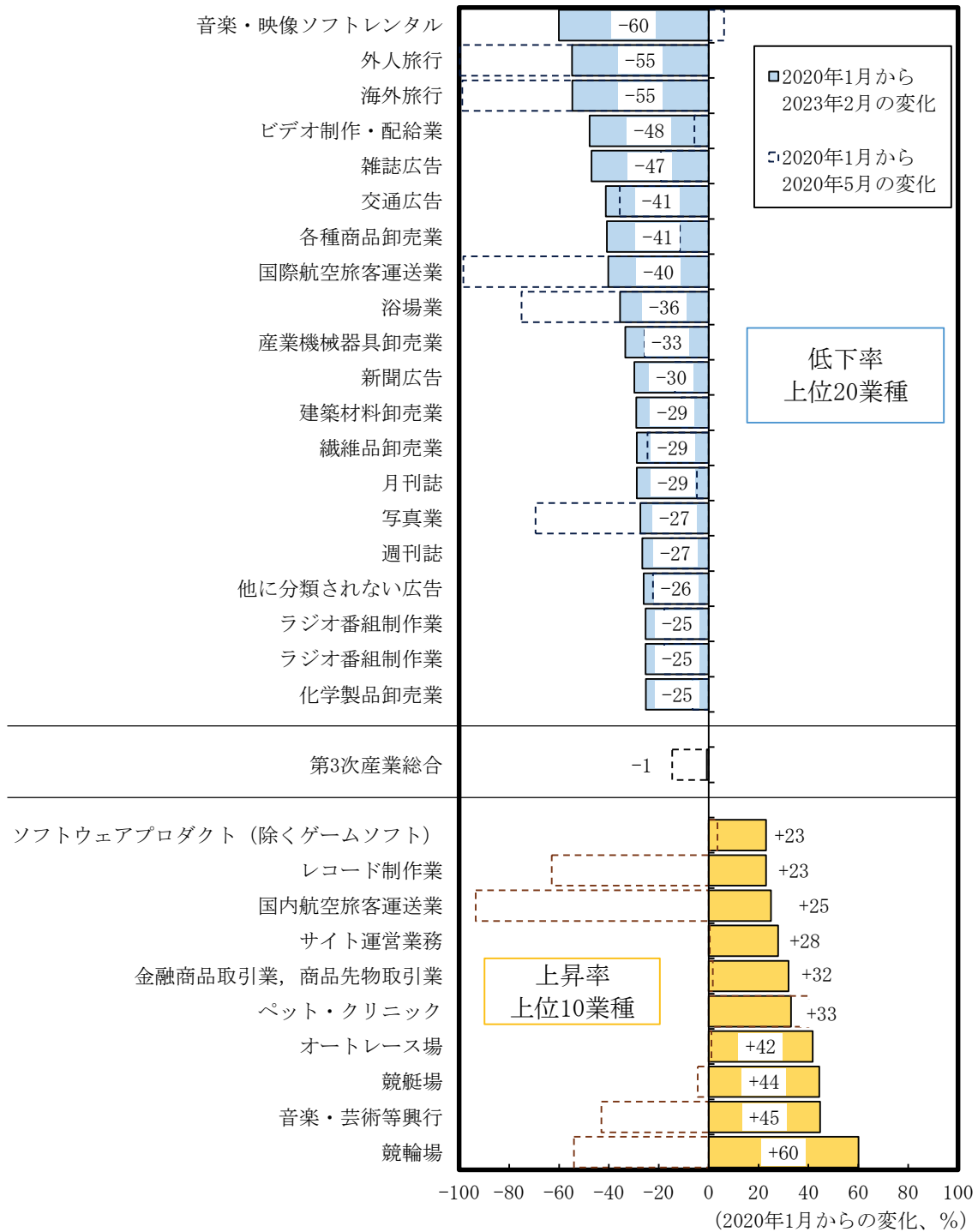


(注) 高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。

(出所) 国土交通省より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

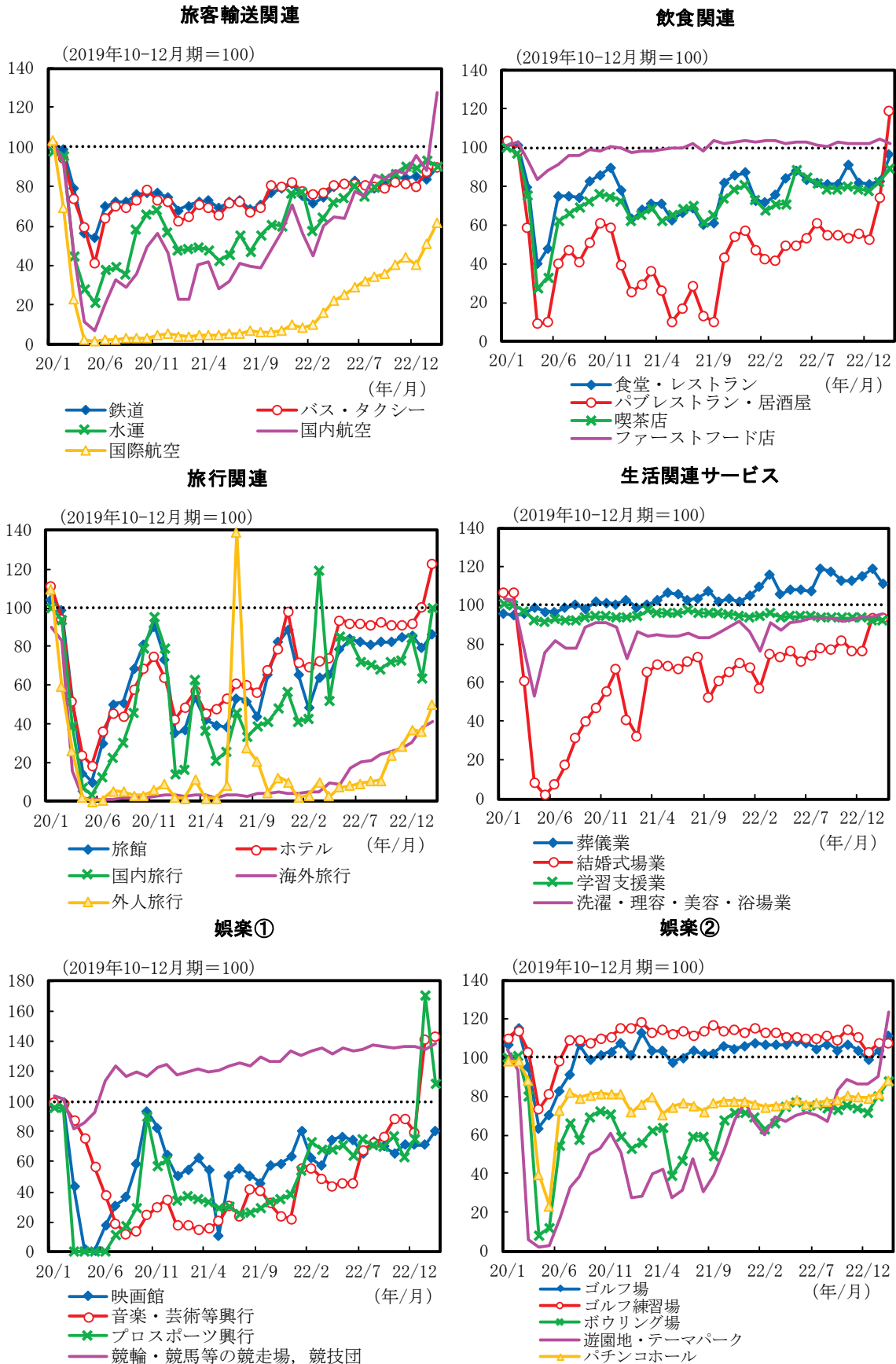
図表 10-1：第3次産業活動指数（2023年2月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2023年2月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 10-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成